

脳酸素飽和度を含む多角的モニタリングによる心肺脳蘇生術が転帰良好に及ぼす影響に関する研究

研究協力をお願い

この研究は日本医科大学中央倫理委員会の承認および研究機関の長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して行います。研究目的や研究方法は以下のとおりです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもって実施します。

皆様方には研究の趣旨をご理解いただき、この研究へのご協力をお願いします。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問などは下記の問い合わせ先へご連絡ください。

1. 研究の対象

2017 年 10 月 1 日から 2028 年 12 月 31 日までに日本医科大学付属病院および鹿児島市立病院に、心肺停止となり救急搬送され、心肺蘇生中に脳組織酸素飽和度が測定された患者さん。

2. 研究の目的

この研究の目的は、心肺蘇生中に測定される脳組織酸素飽和度を含む生体情報(心電図、血圧など)と、退院時の神経学的転帰との関連を明らかにし、今後の治療の改善につなげることです。

3. 研究の方法

この研究は日本医科大学付属病院を研究代表機関とする多機関共同研究で、研究代表者は日本医科大学付属病院救命救急科 横堀将司、研究事務局は日本医科大学付属病院救命救急科 鹿野恒です。他の参加研究機関は鹿児島市立病院(研究責任者:大西広一)です。

2017 年 10 月 1 日から 2028 年 12 月 31 日までに日本医科大学付属病院救命救急科および鹿児島市立院に、心肺停止となり救急搬送され、心肺蘇生中に脳組織酸素飽和度が測定された患者さんを対象に、脳組織酸素飽和度を含め生体情報や治療内容を収集し、これらの指標と退院時の神経学的転機との関連について検討します。研究実施期間は実施許可日から 2030 年 12 月 31 日までです。

この研究は、外部機関との利益相反はありません。

4. 研究に用いる試料・情報

この研究は、患者さんの以下の試料・情報を用いて行われます。

試料:なし

情報:年齢、性別、搬送時の状態や治療内容、血圧、血液検査、画像検査、神経学的所見、転帰など

利用を開始する予定日:実施許可日

提供を開始する予定日:実施許可日

情報の提供を行う機関:鹿児島市立病院病院(院長:堀剛)

情報の提供を受ける機関:日本医科大学付属病院(院長:山口博樹)

情報の取得の方法:研究目的でない診療の過程で取得

この研究に関する情報は、個人が容易に特定されないよう記号化した番号により管理されます。患者さんの個人情報、個人が特定できる形で使用されることはありません。

情報は、以下の施設可能な場所に設置された、インターネットに接続されていないパスワード保護されたパーソナルコンピュータに保管されます。

日本医科大学付属病院：救命救急科医局

また、患者さんから、研究を継続されることについて同意の撤回がなされた場合は、個人情報は速やかに廃棄し、この研究に用いることはありません。なお、研究結果の報告、発表に関して、個人を特定される形では公表しません。

5. 問い合わせ先窓口

この研究に関するご質問などがありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の患者さんの個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができます。

また、情報が研究に用いられることについて、患者さんまたは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

日本医科大学付属病院 救命救急科 鹿野 恒

〒113-8603 東京都文京区千駄木 1-1-5

電話番号：03-3822-2131（代表）内線：3491

メールアドレス：hitoshi-kano@nms.ac.jp

【鹿児島市立病院の研究責任者】

鹿児島市立病院 救急科 大西 広一

〒890-8760 鹿児島県鹿児島市上荒田町 37-1

電話番号：099-230-7000（代表）FAX：099-230-7111

鹿児島市立病院（許可日：2026 年 6 月 12 日）